

教 科 用 図 書 採 択 参 考 資 料 綴 り

教 科 名 国 語

# 調査研究報告書

(小委員会名： 国語 )

<p>1. 調査研究の経過及び内容</p>	<p>(1) 調査研究の対象となった発行者名及び数</p> <p>① 国語 東京書籍 学校図書 教育出版 光村図書の4発行者</p> <p>② 書写 東京書籍 学校図書 教育出版 光村図書 日本文教出版の5発行者</p> <p>(2) 調査研究の経過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月14日 第1回調査委員会において、調査対象の教科用図書、調査研究の観点、調査方法、日程等について確認。</li> <li>・小委員7名で調査研究開始</li> <li>・7月4日 小委員7名が研究報告を持ち寄り協議。協議を受け、分担をして研究結果をまとめることを確認。</li> <li>・7月16日 調査研究報告書及び採択参考資料を委員長に提出。</li> <li>・7月29日 第2回調査委員会開催</li> </ul> <p>(3) 調査研究の内容</p> <p>①国語</p> <p>【取扱内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領で示す国語科の目標、各学年・領域等の目標が達成できるよう、適切な学習活動が取り上げられている。</li> <li>・生活や学習に必要な能力を身に付けるため、記録、報告、解説、推薦などの言語活動が充実し、指導のプロセスが明確である。</li> <li>・教材と関連する図書を紹介するなど、読書活動の充実が図られるよう創意工夫されている。</li> </ul> <p>【内容の構成・排列等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍・・・年間を通じてバランスよく排列されている。</li> <li>・学校図書・・・系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>・教育出版・・・系統性を重視して教材が構成されている。</li> <li>・光村図書・・・系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</li> </ul> <p>②書写</p> <p>【取扱内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領で示す国語科の目標、各学年・領域等の目標が達成できるよう、適切な学習活動が取り上げられている。</li> <li>・毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付けることができるよう配慮されている。</li> <li>・他教科の学習や日常生活に活用できる力が養えるよう創意工夫されている。</li> </ul> <p>【内容の構成・排列等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍・・・活用場面を単元2段階で構成し、確実な定着を図るよう工夫されている。</li> <li>・学校図書・・・習得した技能を、学習や生活の場に用いることができるよう教材が配置されている。</li> <li>・教育出版・・・課題解決していく具体的方法がわかり意欲的に学習できるように工夫されている。</li> <li>・光村図書・・・学習要素を効果的に学習できるように段階的・系統的に教材が排列されている。</li> <li>・日本文教出版・・・見通しを立てて学習を進めることができるよう系統的に教材が排列されている。</li> </ul>
<p>2. 調査研究の具体的資料</p>	<p>1 教科書編修趣意書</p> <p>2 採択参考資料</p> <p>3 学習指導要領解説</p>
<p>3. 少数意見等</p>	<p>特になし</p>

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1学年・国語 第2学年・国語 第3学年・国語 第4学年・国語 第5学年・国語 第6学年・国語	国語101、国語102 国語201、国語202 国語301、国語302 国語401、国語402 国語501 国語601	あたらしいこご一上、あたらしいこご一下 新しい国語二上、新しい国語二下 新しい国語三上、新しい国語三下 新しい国語四上、新しい国語四下 新しい国語五 新しい国語六
取扱内容	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 昔話や神話・伝承の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして面白いと思ったところを発表する活動や、昔から伝わる色々な言い方を声に出して読む活動</p> <p>第3,4学年～ 身の回りで使用されている簡単な単語をローマ字で読み書きしたりコンピュータを使ってローマ字入力したりする活動や、ことわざや故事成語について知り、意味や使い方を調べカードにまとめる活動</p> <p>第5,6学年～ 「竹取物語」「平家物語」などの古文を言葉のリズムを大切に音読する活動や、日常生活の中で相手や場面に応じた敬語の使い方について考える活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 自分の宝物や好きな場所を伝える活動や言われてうれしかった言葉について話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 聞きたいことを中心に考えて聞き、それに対して質問する活動や、司会や書記などの役割を決めて話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 資料を使って自分の考えを発表する活動や異なる立場から考えを生かして計画的に話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ メモを基に様子を伝える文章を書く活動や身の回りの人に手紙を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ お礼やお願いの手紙を書く活動や地域のよさを伝えるリーフレットを作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 資料を活用して報告する文章を書く活動や説得力のある意見文を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 好きな物語と登場人物をカードに書いて紹介する活動や、これまで読んだ本を振り返り、友達と伝えあう活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 友達に読んでもらいたい本を選び、口頭で紹介する活動や、友達に薦めたい本を選び、工夫して薦める活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ グループで本を持ち寄り、クラスの友達に紹介する活動や、6年間の読書生活を振り返り大切な1冊を決めて友達と伝え合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや</p>			

学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等

	<p>考えを広げる。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「つかむ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、乗り物について調べカードに書いたり、書いたカードを友達と読み合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「つかむ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、事例と筆者の考えの関係を確かめたり、文章を読み考えたことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「つかむ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の構成に着目して筆者の説明の仕方を考えたり、資料の効果的な活用の仕方を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、出来事の順序を考えて話す活動、第2学年で、伝えたいことを選んで話の構成を考えて話す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、設定を生かし想像を広げて物語を書く活動、第4学年で、構成を考えて山場のある物語を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、意図を明確にしてインタビューをする活動、第6学年で、話し手の考えと自分の考えを比べる活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は13教材、「書くこと」は24教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は310ページで、前回より約1%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は21教材、「読むこと」は12教材であり、総ページ数は342ページで、前回より約2%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は19教材、「読むこと」は12教材であり、総ページ数は350ページで、前回より約4%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は17教材、「読むこと」は12教材であり、総ページ数は350ページで、前回より約2%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は16教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は303ページで、前回より約2%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は15教材、「読むこと」は11教材であり、総ページ数は303ページで、前回より約4%増となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 友達に好きな教科について伝える活動(第1学年)や身近な人に行事を案内する手紙を書く活動(第3学年)を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材と関連のある図書を紹介した「こんな本もいっしょに」を掲載する(全学年)など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 身に付けたい「言葉の力」を提示し課題を明確にしたり(全学年)、「振り返り」で学習したことを確かめて成長を実感できるようにしたり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に「国語の学習の進め方」や「〇年で学習する言葉の力」を設け、年間を通して学習することを明確にしたり(第2～6学年)、シンプルなレイアウトや色使いにより、大事な情報に着目できるようにしたり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>※ 小学校用教科書目録(平成32年度使用 文部科学省)による</p>

# 教用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	11・学図	第1学年・国語 第2学年・国語 第3学年・国語 第4学年・国語 第5学年・国語 第6学年・国語	国語103、国語104 国語203、国語204 国語303、国語304 国語403、国語404 国語503、国語504 国語603、国語604	みんなと学ぶがっこうこくごねし みんなと学ぶがっこうこくごね下 みんなと学ぶ小学校こくご二年上、みんなと学ぶ小学校こくご二年下 みんなと学ぶ小学校国語三年上、みんなと学ぶ小学校国語三年下 みんなと学ぶ小学校国語四年上、みんなと学ぶ小学校国語四年下 みんなと学ぶ小学校国語五年上、みんなと学ぶ小学校国語五年下 みんなと学ぶ小学校国語六年上、みんなと学ぶ小学校国語六年下
取扱内容	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ かぞえうたを通して数を表す漢字を書いたり読んだする活動や、声に出して確かめながら言葉の音数やアクセントによる語の意味の違いに気付く活動</p> <p>第3,4学年～ 身の回りで使われている簡単な単語をローマ字で書いたり読んだりする活動や、ことわざや故事成語の意味を国語辞典で調べ昔から言い伝えられてきた言葉に触れる活動</p> <p>第5,6学年～ 漢詩の言葉の調子やリズムに親しみながら朗読したり暗唱したりする活動や、日常よく使われる敬語を理解し相手や場面に応じて使い慣れる活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 想像を広げて思いついたアイディアについて伝え合う活動やグループで話し合って考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 学級会で役割を決めて話し合う活動や互いの意見の共通点や相違点に着目する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 自分の立場を明らかにして、資料を活用しながら討論する活動やパネルディスカッションを行う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 観察して気が付いたことを書く活動や二つのものを比べて分かったことを文章にまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 食べ物の秘密について調べて書く活動や社会見学で見たこと、聞いたことを新聞でまとめて紹介し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 図表を使い調べたことをまとめる活動や効果的な表し方を工夫しながらクラブ紹介のチラシを作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 役割を決めて劇をする活動や、違いを図や表にまとめ比べながら読む活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 物語の面白さから問いを作って感想を交流する活動や物語の内容や登場人物の魅力を紹介し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 心情の描写や情景描写をもとに捉えた物語の全体像について感想を伝え合う活動や筆者の主張について友達と意見を共有する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや</p>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				

	<p>考えを広げる。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「がくしゅうのてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、問いの文と答えを見付けたり、考えたことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、段落相互の関係を考えたり、文章を読み分かったことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、事実と意見との関係を押さえ要旨をまとめたり、考えたことを友達と伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、伝えたい事柄の順番を考えて話す活動、第2学年で、伝えたい事柄を行動したことや経験したことに基づいて話す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、文章の構成を考えて報告する文章を書く活動、第4学年で、見学したことの中心を明らかにして新聞にまとめる活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、意見や主張が読み手に伝わりやすい文章の構成を考える活動、第6学年で、複数の意見を基に説得力のある意見文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は11教材、「書くこと」は22教材、「読むこと」は17教材であり、総ページ数は264ページで、前回より約1%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は8教材、「書くこと」は16教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は276ページで、前回より約5%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は9教材、「書くこと」は20教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は306ページで、前回より約3%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は10教材、「書くこと」は16教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は310ページで、前回と同じとなっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は15教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は336ページで、前回と同じとなっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は15教材、「読むこと」は14教材であり、総ページ数は326ページで、前回より約4%減となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 夏休みの思い出について学級で発表し合う活動(第1学年)やお世話になった人などに礼状を書く活動(第4学年)を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材と関連のある図書を紹介した「読書の部屋」を掲載する(全学年)など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習のてびき」に学習のプロセスを示したり(全学年)、「〇年生をふり返って」で一年間の学びを振り返り今後の学習に生かせるようにしたり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 上巻の巻頭に「見つける・見つめる」を掲載し、身の回りから語彙や出来事を書きためることができるようにしたり(第2～6学年)、ユニバーサルデザインに配慮し、文字の大きさ、書体、囲みや罫線による地の文との区別、色使いなどのレイアウトを工夫したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>※ 小学校用教科書目録(平成32年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 「試し書き」と「まとめ書き」の比較をすることで、「何ができるようになったのか」を振り返る活動や、毛筆で学習したことを硬筆に生かす活動が位置づけられていて、新学習指導要領に対応した内容になっている。</p>

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年・国語	国語105、国語106	ひろがることばようがくこくご上 ひろがることばようがくこくご下
		第2学年・国語	国語205、国語206	ひろがることば小学国語二上、ひろがることば小学国語二下
		第3学年・国語	国語305、国語306	ひろがる言葉小学国語三上、ひろがる言葉小学国語三下
		第4学年・国語	国語405、国語406	ひろがる言葉小学国語四上、ひろがる言葉小学国語四下
		第5学年・国語	国語505、国語506	ひろがる言葉小学国語五上、ひろがる言葉小学国語五下
		第6学年・国語	国語605、国語606	ひろがる言葉小学国語六上、ひろがる言葉小学国語六下
		取扱内容	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 民話や神話の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして面白いと思ったところを発表したりする活動や、言葉をかけられてうれしかった経験を紹介し合い、気持ちが伝わる言葉を考える活動</p> <p>第3,4学年～ 身の回りで使われている簡単な単語をローマ字で読み書きしたり自分の名前をコンピュータを使ってローマ字入力したりする活動や、故事成語を集めて意味を調べカードにまとめる活動</p> <p>第5,6学年～ 「春暁」「静夜思」などの漢文の響きを味わいながら読む活動や、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり日常よく使われる敬語の使い方に慣れたりする活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 聞いたことをメモを使って正確に伝える活動やグループで話し合っ て考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ メモを基に話の構成を考えて発表する活動や司会や提案者などの役割を決めて話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 伝える目的に応じた資料を用いて発表する活動やパネルディスカッションを行う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ メモを基に見付けたことを書く活動や町探検で見付けたことを報告する文章を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 調べた生き物について説明する文章を書く活動や図表の効果を考えて新聞を作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 構成を考えてポスターを作る活動や書く分量や内容を工夫してパンフレットを作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 話の好きな場面を紹介する活動や生き物が成長する様子について写真を使い説明する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 物語の面白いところをカードにまとめる活動や紹介したい本を選び発表する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 印象に残った本を推薦する活動や伝記を読み人物の生き方について考える活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p>	

学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「～よう（てびき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章と絵を合わせて読み身ぶりについて考えたり、考えたことを友達と読み合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「～よう（てびき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、段落の要点を整理したり、文章を読み分かったことを友達と交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「～よう（てびき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の構成に着目して論の進め方を整理したり、考えたことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、夏休みの出来事を思い出しながら質問し合う活動、第2学年で、昔の遊びについて順序に気を付けて話す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、調べたことの中から中心にする内容を決めて報告文を書く活動、第4学年で、構成を考えて報告するリーフレットを作る活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、根拠となる資料を用いて意見文を書く活動、第6学年で、理由や根拠を示して説得力のある意見文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は10教材、「書くこと」は14教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は310ページで、前回より約9%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は10教材、「書くこと」は19教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は324ページで、前回より約9%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は10教材、「書くこと」は25教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は320ページで、前回より約7%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は10教材、「書くこと」は23教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は342ページで、前回より約10%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は8教材、「書くこと」は24教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は332ページで、前回より約8%増となっている。（判型はB5判）</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は9教材、「書くこと」は21教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は336ページで、前回より約2%増となっている。（判型はB5判）</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 友達に新しく知ったことを伝える活動（第1学年）や写真や図表を効果的に使い他の学年の人たちに伝える新聞を作る活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材と関連のある図書を紹介した「本を読もう」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「～よう（てびき）」に学習の進め方を示したり（全学年）、「ここが大事」に汎用性のある学習のポイントを紹介したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に「○年生で学ぶこと」を設け、学習内容を概観することができるようにしたり（全学年）、色覚などの特性を踏まえた判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、学びやすい紙面づくりに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</p>



# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	38・光村	第1学年・国語 第2学年・国語 第3学年・国語 第4学年・国語 第5学年・国語 第6学年・国語	国語107、国語108 国語207、国語208 国語307、国語308 国語407、国語408 国語507 国語607	こくご一上かざぐるま、こくご一下ともだち こくご二上たんぼぼ、こくご二下赤とんぼ 国語三上わかば、国語三下あおぞら 国語四上かがやき、国語四下はばたき 国語五銀河 国語六創造
取扱内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">                     学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等                 </div> <p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 昔話の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして面白いと思ったところを発表する活動や、観察したことを記録する文章を書き身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で使う活動</p> <p>第3,4学年～ 日常生活で使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動や、短歌や俳句のリズムを感じ取りながら音読する活動</p> <p>第5,6学年～ 「竹取物語」「平家物語」などの古文をリズムを味わいながら音読する活動や、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり日常よく使われる敬語の使い方に慣れたりする活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 身近なものについて二人で相談しながら問題を考える活動やあったらいいなと思うものを発表する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 相手の話を聞き、もっと知りたいことを考えて質問する活動や司会や記録係などの役割を決めて話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 事実と意見を区別して提案する活動や議題を決めてグループごとに話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 生き物について報告する文章を書く活動やおもちゃの作り方を説明する文章を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 仕事について報告する文章を書く活動や事実を分かりやすく伝える新聞を作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 事実と意見を区別して意見文を書く活動や構成を工夫してパンフレットを作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 自動車について説明した文章をノートにまとめる活動や生き物が登場する文章を音読劇にしながら読む活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第3,4学年～ 場面を比べながら読み感じたことをまとめる活動や登場人物の変化を中心に読み物語の魅力を紹介する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第5,6学年～ 人物の行動や会話、情景などから登場人物の関係を捉え、人物の生き方について考えたことを話し合う活動や複数の文章を読み考えたことを交流する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え</p>			

	<p>合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「がくしゅう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章に書かれている内容を比べながら読んだり、本を読み分かったことを友達に知らせたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「学習」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、中心となる語や文を確かめながら読んだり、文章を読んだ感想をグループで伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「学習」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の表現や構成に注意して要旨をまとめたり、筆者の考えに対する自分の考えを発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、好きなものとその理由について話す活動、第2学年で、楽しかったことなどについて順序を考えて発表する活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、事例を複数挙げながら説明する文章を書く活動、第4学年で、構成を考えて説明するリーフレットを作る活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、構成を工夫しスピーチをする活動、第6学年で、話し方や資料の提示の仕方などを工夫しスピーチをする活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は13教材、「書くこと」は24教材、「読むこと」は17教材であり、総ページ数は268ページで、前回より約1%減となっている。(判型はB5判)</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は21教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は320ページで、前回より約16%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は21教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は320ページで、前回より約10%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は18教材、「読むこと」は14教材であり、総ページ数は324ページで、前回より約9%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は17教材、「読むこと」は12教材であり、総ページ数は296ページで、前回より約4%増となっている。(判型はB5判)</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は17教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は310ページで、前回より約9%増となっている。(判型はB5判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 家の人に学校にいる生き物などを知らせる活動(第1学年)やアンケート調査などを行いグループで新聞を作る活動(第4学年)を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を「本は友達」に掲載する(全学年)など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習」で読みの学習過程を明示したり(第2～6学年)、「学習の進め方」で明確な見通しをもって学ぶことができるようにしたり(第2～6学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末の付録に「学習を広げよう」を掲載し、他教科や日常生活に広げて活用できるようにしたり(第2～6学年)、図書紹介のページのように文字がやや小さい教材には、読みやすさを強調して作られたユニバーサルデザインフォントを使用したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>※ 小学校用教科書目録(平成32年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 5,6年生になると上下に分かれず、1冊になる。</p>

## 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1学年・書写 第2学年・書写 第3学年・書写 第4学年・書写 第5学年・書写 第6学年・書写	書写101 書写201 書写301 書写401 書写501 書写601	あたらしい しょしゃ 一 新しい しょしゃ 二 新しい書写 三 新しい書写 四 新しい書写 五 新しい書写 六
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標内容等	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 文字を比べ、画の長さや方向の違いを確かめたり、画の接し方や交わり方などに気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 文字の大きさや字間を確かめたり、行の中心や行間に気を付けたりする活動を通して、配列に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 用紙に合った文字の大きさを確かめたり、文字の位置、字間及び行間に気を付けて書いたりする活動を通して、配列を意識して書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字や平仮名の題材で、点画それぞれの書き方、字形及び穂先の方向などを確かめる活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 漢字や平仮名の題材で、終筆から始筆への動きなど、点画相互、文字相互のつながりを確かめる活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 点画の種類や書き方、部首と部首の組立て方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 点画のつながりや接し方、文字相互のつながりなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「できるように なったよ」(第1学年)において、点画の書き方に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、がんばったことやできるようになったことをカードに書く活動を行い、書いた内容を友達と伝え合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「はがきでつたえよう」(第3学年)において、文字の大きさや字間に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、はがきを書く活動を行い、これまでの学習をどのように生かしたか友達と話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「書写展覧会を開こう」(第6学年)において、文字の大きさや配列に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、色紙などに将来の夢を書く活動を行い、これまでの学習をどのように生かしたか友達と話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>		

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名について「曲がり、折れ」など、点画の書き方を確かめた後に、片仮名や漢字の文字の形の違いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）</p> <p>第2学年～ 片仮名や漢字について、点画の長短や方向、接し方や交わり方を確かめた後に、文章表記について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）</p> <p>第3学年～ 毛筆について1字の漢字の筆圧、点画の筆使いを確かめた後に、2字の平仮名の「曲がり」などの筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）</p> <p>第4学年～ 毛筆について1字の漢字の画の長さ、間隔、方向を確かめた後に、2字の漢字の組立てや平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）</p> <p>第5学年～ 点画の組立て方や配列を確かめた後に、目的に応じて筆記具を選択し、様々な用紙に書く活動について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）</p> <p>第6学年～ 点画のつながり、書く速さ、字形の整え方を確かめた後に、文字の大きさと配列に注意して書く活動について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はA B判）</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 硬筆は43ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約20%増となっている。</p> <p>第2学年～ 硬筆は34ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約10%増となっている。</p> <p>第3学年～ 硬筆は20ページ、毛筆は27ページであり、総ページ数は57ページで、前回より約16%増となっている。</p> <p>第4学年～ 硬筆は16ページ、毛筆は25ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。</p> <p>第5学年～ 硬筆は17ページ、毛筆は25ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。</p> <p>第6学年～ 硬筆は17ページ、毛筆は22ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 課題解決のヒントを与えるキャラクターが登場したり（全学年）、手紙を書く学習（第2学年）や古文を視写する学習（第5学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習過程を分かりやすく図解した「書写の学び方」を掲載したり（第2学年以上）、教材ごとに自己評価のための「振り返って話そう」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 当該学年の指導事項を児童に分かりやすく説明した「集めて使おう、書写のかぎ」を掲載したり（全学年）、カラーバリアフリーへの配慮やユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 左利きの児童に配慮した鉛筆の持ち方の写真がある。（第1学年）</p> <p>○ 指なぞりに適したお手本がある。（第1学年）</p> <p>○ ワークシートの要素があり、教師側の授業準備に配慮されている。（全学年）</p> <p>○ 水書用紙がついていて、繰り返し練習ができる。（第1・2学年）</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</p>

## 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	11・学図	第1学年・書写 第2学年・書写 第3学年・書写 第4学年・書写 第5学年・書写 第6学年・書写	書写102 書写202 書写302 書写402 書写502 書写602	みんなとまなぶ しょうがっこうしよしゃ 一ねん みんなと学ぶ 小学校しよしゃ 二年 みんなと学ぶ 小学校書写 三年 みんなと学ぶ 小学校書写 四年 みんなと学ぶ 小学校書写 五年 みんなと学ぶ 小学校書写 六年
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 画の長さや方向の違いを確かめたり、点画相互の間や交わり方、接し方などに気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 画の長短や文字の中心を確かめたり、文字の大きさや文字と文字との間に気を付けて書いたりする活動を通して、配列に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 用紙に対する文字の大きさを確かめたり、用紙の上下・左右の余白に気を付けて書いたりする活動を通して、配列を意識して書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字、平仮名及び片仮名の題材で、漢字と平仮名の筆使いの違いや文字の組立て方を確かめる活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 平仮名や漢字仮名交じりの文言の題材で、点画のつながりと筆順との関連を確かめる活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 点画の方向や間隔、画の長短及び字形の整え方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 穂先の動き、点画のつながり及び文字の大きさなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「文字の形」(第2学年)において、文字の形の違いに気を付けて書くという課題を設定し、見通しをもたせるとともに、漢字の外形を確かめて書く活動を行い、これまでの学習を振り返るなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「ひらがな」(第3学年)において、漢字と平仮名の筆使いの違いに注意して書くという課題を設定し、見通しをもたせるとともに、始筆や方向に気を付けて書く活動を行い、これまでの学習を振り返るなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「字形を整える」(第6学年)において、字形を整えて書くという課題を設定し、見通しをもたせるとともに、筆順、外形、組立てに気を付けて書く活動を行い、これまでの学習を振り返るなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>		

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名について「曲がり、折れ」など、点画や文字の形を確かめた後に、片仮名や漢字の形や画の長さなどについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第2学年～ 片仮名や漢字について点画の方向や点画の接し方、交わり方を確かめた後に、文章表記について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第3学年～ 毛筆について1字の漢字の始筆、送筆、終筆や点画、筆圧について確かめた後に、2字の平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第4学年～ 毛筆について2字の漢字の字形や文字の組立て方を確かめた後に、平仮名の筆使いや文字の大きさと配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第5学年～ 穂先の動きと点画のつながりを確かめた後に、文字と行の中心や文字の大きさと配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第6学年～ 穂先の動きと点画のつながりや字形の整え方を確かめた後に、用紙に合った文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 硬筆は37ページであり、総ページ数は50ページで、前回より約22%増となっている。</p> <p>第2学年～ 硬筆は33ページであり、総ページ数は47ページで、前回より約15%増となっている。</p> <p>第3学年～ 硬筆は14ページ、毛筆は20ページであり、総ページ数は51ページで、前回より約4%増となっている。</p> <p>第4学年～ 硬筆は18ページ、毛筆は22ページであり、総ページ数は59ページで、前回より約31%増となっている。</p> <p>第5学年～ 硬筆は18ページ、毛筆は21ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約18%増となっている。</p> <p>第6学年～ 硬筆は15ページ、毛筆は16ページであり、総ページ数は51ページで、前回より約24%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 用語の解説をするキャラクターが登場したり（全学年）、俳句を視写する学習（第3学年）や文学教材を視写する学習（第5学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習過程を分かりやすく示した「学習の進め方」を掲載したり（全学年）、実際に文字を書き込み自己評価を行う「振り返ろう」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭・巻末に学習のめあてや裏表紙に学習内容を一覧で示した「保護者の方へ」を掲載したり（全学年）、カラーユニバーサルデザインへの配慮やユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</p>

## 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年・書写 第2学年・書写 第3学年・書写 第4学年・書写 第5学年・書写 第6学年・書写	書写103 書写203 書写303 書写403 書写503 書写603	しょうがく しょしゃ 一ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年 小学 書写 四年 小学 書写 五年 小学 書写 六年
取扱内容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 文字を比べ、画の方向の違いを確かめたり、画相互の間や画の長さなどに気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 文字の大きさや行の中心を確かめたり、書き出しの位置に気を付けて書いたりする活動を通して、配列に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 用紙に合った文字の大きさを確かめたり、行間や上下・左右の余白に気を付けて書いたりする活動を通して、配列を意識して書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字、平仮名及び片仮名の題材で、曲がりや折れなど点画それぞれの筆の動きを確かめる活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 平仮名や漢字仮名交じりの文言の題材で、文字の大きさや配列と関連付けて、文字のつながりを確かめる活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 平仮名の筆使い、文字の組立て及び字形を整えるなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 文字どうしの大きさや配列、点画のつながりなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「文字をくらべて話し合おう」（第2学年）において、点画の書き方や文字の形に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「ためし書き」と「まとめ書き」を書く活動を行い、友達とどのように変わったのかを伝え合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「レッツ・トライ」（第4学年）において、字間、行間、配列、及び余白に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、学習内容を発表するための資料を書く活動を行い、内容を分かりやすく伝える工夫について伝え合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「レッツ・トライ」（第6学年）において、文字の大きさや余白に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、色紙に自作の俳句などを書く活動を行い、友達とよく書けているところを評価し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名について「曲がり、折れ」など、点画や文字の形を確かめた後に、片仮名や漢字の画の方向について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第2学年～ 片仮名や漢字について点画の方向、長さ、接し方及び交わり方を確かめた後に、文章表記について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第3学年～ 毛筆について1字の漢字の始筆、送筆、終筆や点画、筆圧、字形を確かめた後に、2字の平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第4学年～ 毛筆について点画の種類を復習し、筆順と字形を確かめた後に、平仮名の筆使いや文字の組立て方について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第5学年～ 文字の組立て方や穂先の動き、筆順と字形を確かめた後に、文字の大きさや点画のつながりについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第6学年～ 文字の大きさと配列、点画のつながりを確かめた後に、小筆を使用し、用紙に合った文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 硬筆は39ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約9%増となっている。</p> <p>第2学年～ 硬筆は28ページであり、総ページ数は41ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第3学年～ 硬筆は20ページ、毛筆は30ページであり、総ページ数は61ページで、前回より約3%増となっている。</p> <p>第4学年～ 硬筆は21ページ、毛筆は28ページであり、総ページ数は61ページで、前回より約7%増となっている。</p> <p>第5学年～ 硬筆は22ページ、毛筆は26ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。</p> <p>第6学年～ 硬筆は15ページ、毛筆は26ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習のガイダンスをするイラストが登場したり（全学年）、文学教材を視写する学習（第2学年）や新聞を書く学習（第4学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習過程を分かりやすく示した「学習の進め方」を掲載したり（全学年）、教材ごとに学習内容についての自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に文字に関連したコラムを掲載したり（第3学年以外）、色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色、レイアウト及びユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 課題の始めと終わりに硬筆の練習場面が用意されており、画の特徴を毛筆で確認し硬筆へ広げて学習するという流れが工夫されている。</p> <p>○ 水書用紙が付属されるなど低学年の水書用筆の指導に適した配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</p>



## 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	38・光村	第1学年・書写 第2学年・書写 第3学年・書写 第4学年・書写 第5学年・書写 第6学年・書写	書写104 書写204 書写304 書写404 書写504 書写604	しょしゃ 一ねん しょしゃ 二年 書写 三年 書写 四年 書写 五年 書写 六年
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 文字を比べて、画の長さや方向の違いを確かめたり、画の付き方や交わり方などに気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 文字の中心をそろえ、行を整えることを確かめたり、字間に気を付けて書いたりする活動を通して、配列に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 用紙に対する文字の大きさを確かめたり、用紙に合わせた字間や余白に気を付けて書いたりする活動を通して、配列を意識して書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字や平仮名の題材で、漢字と平仮名の筆使いの違いや画の方向などの動きを確かめる活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 平仮名や漢字仮名交じりの文言の題材で、筆や小筆を使用して点画相互、文字相互のつながりを確かめる活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 点画の筆使い、字形の整え方及び文字の配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 穂先の動き、点画のつながり及び文字の大きさや配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「できているかな」(第1学年)において、筆記具の持ち方に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、鉛筆の持ち方について友達どうしで確認し合う活動を行い、よい点などについて友達と伝え合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「リーフレットの書き方」(第4学年)において、文字の大きさや配列に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、調べたことを紹介するリーフレットを書く活動を行い、内容や見やすさなどの観点で友達と読み合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「めざせ！新聞記者」(第5学年)において、文字の配列や筆記具の選択に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、新聞記事を書く活動を行い、紙面を読みやすくする工夫を友達と話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>		

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名について「曲がり、折れ」など、点画や文字の形を確かめた後に、片仮名や漢字の点画や文字の形について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第2学年～ 漢字について筆順、点画の方向、点画の接し方や交わり方を確かめた後に、文字の中心について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第3学年～ 毛筆について1字の漢字の点画や穂先の向き、筆圧との関係を確認した後に、2字の平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第4学年～ 毛筆について部分の組立て方や筆順、字形を確かめた後に、平仮名の筆使いや2字の漢字の大きさについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第5学年～ 穂先の動きや点画のつながりと字形、文字の組立て方を確かめた後に、用紙に合った文字の大きさについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第6学年～ 穂先の動きと点画のつながりや、筆順と点画のつながりを確かめた後に、用紙に合った文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 硬筆は34ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約15%増となっている。</p> <p>第2学年～ 硬筆は27ページであり、総ページ数は41ページで、前回より約11%増となっている。</p> <p>第3学年～ 硬筆は13ページ、毛筆は23ページであり、総ページ数は57ページで、前回より約4%増となっている。</p> <p>第4学年～ 硬筆は16ページ、毛筆は19ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。</p> <p>第5学年～ 硬筆は19ページ、毛筆は20ページであり、総ページ数は55ページで、前回より約17%増となっている。</p> <p>第6学年～ 硬筆は17ページ、毛筆は16ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約8%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 分かりやすい図やイラストを掲載したり（全学年）、原稿用紙に書く学習（第2学年）や短歌をつくって書く学習（第6学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習過程を分かりやすく示した「学習の進め方」を掲載したり（第3学年以上）、教材ごとに学習内容についての自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 裏表紙に児童自らが繰り返し確認できるような筆記具の持ち方を掲載したり（第3学年以上）、図表などに識別しやすい組み合わせの色やユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 低学年の水書用筆の指導に配慮した教材が適切に配置され、水書用紙が第1学年で付属されている。</p> <p>○ 手紙、ポスター、新聞といった「書写の日常化」や「我が国の伝統的な言語文化」に関する教材を適切に扱っている。</p>

## 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第1学年・書写 第2学年・書写 第3学年・書写 第4学年・書写 第5学年・書写 第6学年・書写	書写105 書写205 書写305 書写405 書写505 書写605	しょうがくしょしゃ 一ねん 小学しょしゃ 二年 小学書写 三年 小学書写 四年 小学書写 五年 小学書写 六年
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 誤った文字と比べ、画の方向の違いを確かめたり、画の接し方や交わり方などに気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 文字の中心の目安となる画を確かめたり、字間や行間に気を付けて書いたりする活動を通して、配列に注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 用紙に合った文字の大きさを確かめたり、字間、行間及び余白に気を付けて書いたりする活動を通して、配列を意識して書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字、平仮名及び片仮名の題材で、点画それぞれの形や字形、筆使いを確かめる活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 漢字や漢字仮名交じりの文言の題材で、正しい筆順を意識し、点画から点画へのつながりを確かめる活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 漢字、平仮名及び片仮名の筆使い、点画の種類、及び文字の組立てなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 文字の大きさ、配列、文字の組立て方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「あったことをスピーチしよう」(第1学年)において、点画の書き方や文字の形に気を付けるなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチ原稿を書く活動を行い、書いた内容を友達と発表し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3,4学年～ 「お気に入りの本をしょうかいしよう」(第4学年)において、行の中心に文字をそろえて書くなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、本を紹介するリーフレットを書く活動を行い、読みやすくするための工夫について伝え合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「提案文を書いて、話し合おう」(第5学年)において、目的に応じて使用する筆記具を選ぶなど、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、提案文を書く活動を行い、読みやすい紙面にするための工夫について話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名について「とめ、はらい」などの点画の書き方や文字の形を確かめた後に、漢字や片仮名の点画や書き方などについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第2学年～ 漢字について筆順、文字の形、点画の長短や方向を確かめた後に、点画の接し方や交わり方について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第3学年～ 毛筆について漢字の点画や穂先の向き、筆圧との関係を確かめた後に、文字の中心や2字の平仮名の筆使いについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第4学年～ 毛筆について字形の整え方や部分の組立て方を確かめた後に、平仮名の筆使いや文字の大きさについて取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第5学年～ 字形の整え方や、穂先の動きと点画のつながりを確かめた後に、文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>第6学年～ 文字の組立て方や点画のつながりと筆順を確かめた後に、用紙に合った文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（判型はB5判）</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 硬筆は31ページであり、総ページ数は40ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第2学年～ 硬筆は29ページであり、総ページ数は40ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第3学年～ 硬筆は20ページ、毛筆は28ページであり、総ページ数は56ページで、前回より約8%増となっている。</p> <p>第4学年～ 硬筆は21ページ、毛筆は27ページであり、総ページ数は56ページで、前回より約8%増となっている。</p> <p>第5学年～ 硬筆は17ページ、毛筆は23ページであり、総ページ数は52ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第6学年～ 硬筆は17ページ、毛筆は23ページであり、総ページ数は52ページで、前回と同様となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 課題解決に向けたヒントを与えるキャラクターが登場したり（全学年）、本を紹介する学習（第4学年）や提案文を書く学習（第5学年）などの国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習過程を分かりやすく示した「(書写) 学習の進め方」を掲載したり（全学年）、教材ごとに学習内容についての自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に当該学年の指導事項を児童向けに示した「○年生の目標」を掲載したり（全学年）、左利きでも視写できるレイアウトの工夫やユニバーデザインフォントを使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 「行書」や「万葉仮名」について解説したコラムが位置づけられて、中学校の学習内容を意識した編集がされている。</p>